



なんと!!

1948年(昭和23年)に尾崎先生が初めて発掘した古墳です。

かがみ
鏡

て
手

づか
塚

古墳

別名

粕川村44号墳

鏡手塚古墳とは??

古墳総数50基程からなる月田古墳群の南部に位置する前方後円墳です。昭和23年に群馬大学史学研究室によって、周堀等の一部が発掘調査されました。古墳は周堀を含めた最大長50メートルで墳丘部分のみの長さは28メートルです。横穴式石室であり、石室は後円部に設けられています。

現在、古墳が良好に残っているのは、鏡手塚古墳と壇塚古墳のみ!!

横穴式石室の開口部は落ち葉などで埋まってしまっていて中は見えません…。



もしかして??

墳形、規模から、当時の粕川地域(赤城山南麓)の有力氏族層の墓であると考えられています。

出土品は??

石室内部
→直刀5振、
耳環、鉄鍬
墳丘
→人物、馬などの
形象埴輪

右の資料は、7月29日の午前8時からの尾崎先生の調査日誌です。「象形埴輪破片集が出る」との記述から形象埴輪が発掘されたことがわかります!

